



# 北山田小だより



横浜市立北山田小学校  
校長 滝川 尚美

「なが〜い5ふん みじかい5ふん」

〜密度の濃い時間を〜

校長 滝川 尚美

「あ〜チャイムが鳴っちゃった！」残念そうにドッジボールを手に子どもたちが校庭から駆け戻ってきます。この暑い中でも子どもたちは20分間の休み時間を全力で楽しんでます。楽しい時間はあっという間に過ぎるのに、待たされる時間や退屈な時間は長く感じます。絵本「なが〜い5ふん みじかい5ふん」は、読んでうなずける場面がいっぱいです。同じ時間でも気持ちによって感じ方が異なるのが不思議です。ただ、時間の感じ方が変わる原因はいくつかあるようです。気持ちの在り方の他にも脳への新しい刺激が少なくなると時間は短く感じられるとか。いつもと同じことをしているだけでは、1年が短くなるばかり。そういえば、最近1年が短く感じられるような気がします。頭と体をしっかり動かしたり、新しい体験をしたりして心と体を刺激し、いつまでも、たっぷりと充実した1年を過ごせるように頑張りたいと思います。この絵本は、読書感想文コンクールの課題図書です。図書室にも置いてあります。気になった方は読んでみてください。



さて、先日4年生の担任に、「校長先生、子どもたちこんな素敵なのはがきを書きましたよ。」と声をかけられました。この夏会えなかった人や日頃の感謝の気持ちを伝えたい人にはがきを書いたそうです。

おばあちゃん、まだまだ暑いけど元気ですか。夏休みに水族館へ行ったよ。シャチのショーを見た後、ふわっふわでとってもかわいいシャチのぬいぐるみを買ってもらったよ。

新型コロナウイルスがおさまったら、また、みんなでおばあちゃんの家であつまりたいな。

おまたさん、暑い日が続いていますね。お体、だいじょうぶですか。毎日、おにごっこ公園で見守ってくれたり、あいさつしてくれたりして、ありがとうございました。ぼくは、とってもうれしくて、おまたさんのことが大好きです。コロナがはやっているので気をつけてください。これからもがんばってパトロールおねがいします。

はがきの文章にちりばめられた子どもたちの温かい言葉にほっこりしました。新型コロナウイルスによって私たちの日常は、大きく変わってきてしまっていますが、子どもたちは、今に向き合いながら、できることに取り組み人とのつながりを大切にしていることが嬉しいです。そして、子どもたちの安全を見守ってくださる地域の方々にも改めて感謝いたします。

また、これから各クラスで「ZOOMをつかって、つながってみよう」の取組をします。すでに6年生では、ZOOMを使って学年レクの体験をしています。今だからこそできる新しいつながり方にもチャレンジしていきたいと思います。

同じ1年でも人によって感じる長さは異なります。この1年、いろいろな取組を通じて、密度の濃い時間だったと子どもたちが思い返せるように努めていきたいです。